



令和元年12月9日

報道機関 各位

東北大学研究推進・支援機構知の創出センター

知のフォーラム プレミアム 「災害科学」と「氷の文化史」をめぐる東北大学の最新研究

「知のフォーラム プレミアム」は知のフォーラムの活動5周年を機に開催され、活動の一部を体験いただけるイベントとなっております。世界的フロントランナーが「災害科学」「氷の文化史」についてそれぞれわかりやすく解説いたします。皆様ぜひお気軽にご参加ください。

【開催概要】

日時:2020年2月7日(金)

16:00-17:50 講演会, 18:00-19:30 交流会

場所:東京都中央区日本橋室町 1-5-5

室町ちばぎん三井ビルディング8階(COREDO3内)

日本橋ライフサイエンスハブ E 会議室

対象:一般 (定員 150名)

※下記サイトにてご登録ください。登録締切:2020年1月16日(木)

<http://www.tfc.tohoku.ac.jp/premium/>

※講演会は入場無料。

※交流会(立食形式)は会費 2,000 円。

【講演内容】

世界的フロントランナーである両教授から東北大学の最新研究についてわかりやすく解説いたします。

- ・「災害科学の進化と国際貢献」

今村 文彦 教授 (東北大学災害科学国際研究所長)

- ・「氷の文化史—ロシア北極域の先住民の環境適応と気候変動」

高倉 浩樹 教授 (東北大学東北アジア研究センター長)

【交流会】

講演者をお迎えして交流会を開催いたします。軽食とお飲み物もご用意させていただきます。気軽に交流できるまたとない機会となっております。ぜひ皆様奮ってご参加ください。 ※軽食と飲み物をご用意しております。(立食形式)

【知のフォーラムについて】

知のフォーラムは、2013年10月に日本で初めての訪問滞在型研究センターとして、ノーベル賞受賞者やフィールズ賞受賞者をはじめ世界トップクラスの研究者を招聘し、未来社会への課題解決、次世代へ向けた新しい研究分野の創成のための議論を行う場を提供しています。知のフォーラムでは、人文・社会科学から自然科学までの全分野を対象にした研究テーマについて、約3ヶ月程度の集中的議論を行うプログラムを実施しています。知のフォーラムの活動を広く知っていただくために、「知のフォーラム プレミアム」を開催いたします。

講演後には、講演者との交流会も予定しておりますので、ぜひ、ご来場ください。

【講演者プロフィール】

今村 文彦 / Fumihiko Imamura

東北大学津波工学研究分野教授。現在は、東北大学災害科学国際研究所長を務めている。専門は津波工学・自然災害科学で、津波被害の軽減を目指し、津波予警報システムの開発や太平洋等での防災対策等の研究を数多く実施しているほか、津波数値技術移転国際プロジェクト TIME 代表、中央防災会議専門調査会委員、東日本大震災復興構想会議検討部会、一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構代表理事等。主な受賞として 2014 年に NHK 放送文化賞、2015 年に文部科学大臣表彰(科学技術振興部門)、2016 年に防災功労者内閣総理大臣表彰などを受賞している。

高倉 浩樹 / Hiroki Takakura

東北大学東北アジア研究センター教授。現在は、総長特別補佐(研究)および東北アジア研究センター長も務める。専門は社会人類学。2012年に「シベリア地域研究における新局面の開拓と展開」に関する業績で大同生命地域研究奨励賞を受賞。北極圏に暮らす先住民の環境適応とその歴史についての人類的研究で国際的に知られている。東日本大震災以降は災害復興と文化の役割の関係を調査研究しているほか、北極圏気候変動の社会影響についても業績がある。主な著作に『極北の牧畜民サハ』(昭和堂)、『極寒のシベリアを生きる』(編著、新泉社)、『震災復興の公共人類学』(共編著、東京大学出版会)等がある。

主催: 東北大学研究推進・支援機構
知の創出センター

共催:
東北大学総務企画部社会連携課、広報室
東北大学菽友会
東京エレクトロン株式会社

【問い合わせ先】

東北大学研究推進・支援機構知の創出センター
担当 前田・及川
電話 022-217-6091
E-mail creativity@ml.tohoku.ac.jp



知のフォーラムは、日本で初めての訪問滞在型研究センターとして、ノーベル賞受賞者やフィールズ賞受賞者をはじめ世界トップクラスの研究者を招聘し、未来社会への課題解決、次世代へ向けた新しい研究分野の創成のための議論を行う場を提供しています。知のフォーラムでは、人文・社会科学から自然科学までの全分野を対象にした研究テーマについて、約3ヶ月程度の集中的議論を行うプログラムを実施しています。知のフォーラムの活動を広く知っていただくために、「知のフォーラムプレミアム」を開催いたします。

知の フォーラム

プレミアム *Premium*

東北大学知のフォーラム

2020

2/7 [金]

16:00-19:30
(開場 15:30)

会場

日本橋ライフサイエンスハブ E 会議室
東京都中央区日本橋室町 1-5-5
室町ちばぎん三井ビルディング 8 階

定員 150名

登録締切：2020/1/16 [木]

※定員になり次第締め切ります。

登録方法

FAX または右記 URL からお申込みください。
※FAX でのお申込みの際は、お名前、年齢、ご住所、電話番号、FAX番号、参加人数、交流会への参加の有無をお知らせください。

講演会 16:00-18:00

■ 講演 1

「災害科学の進化と国際貢献」

東北大学 災害科学国際研究所長

今村 文彦 教授



■ 講演 2

「氷の文化史ーロシア北極域の
先住民の環境適応と気候変動」

東北大学 東北アジア研究センター長

高倉 浩樹 教授



交流会 18:00-19:30

※交流会へご参加いただく際は、会費として2,000円を当日受付にて申し受けます。

東北大学研究推進・支援機構知の創出センター事務局

www.tfc.tohoku.ac.jp/premium/

TEL: 022-217-6091 FAX: 022-217-6293



2020/ 2/7 [金]

[プログラム]

16:00-19:30

(開場 15:30)

総合司会 : David Nguyen

(東北大学研究推進・支援機構知の創出センター特任助教)

開会挨拶

16:00-16:05

長坂 徹也 教授

(東北大学工学研究科長・工学部長)

報告 「知のフォーラムの活動について」

16:05-16:15

前田 吉昭

(東北大学研究推進・支援機構知の創出センター副センター長)

■ 講演 1

「災害科学の進化と国際貢献」

16:15-16:55

今村 文彦 教授

(東北大学災害科学国際研究所長)

■ 講演 2

「氷の文化史ーロシア北極域の先住民の環境適応と気候変動」

17:00-17:40

高倉 浩樹 教授

(東北大学東北アジア研究センター長)

閉会挨拶

17:40-17:50

早坂 忠裕

(東北大学理事・副学長(研究担当)、研究推進・支援機構知の創出センター長)

18:00-19:30

講演者との交流会

知の
フォーラム
プレミアム
Premium
東北大学知のフォーラム

[講演者プロフィール]



今村 文彦 ● Fumihiko Imamura

東北大学津波工学研究分野教授。現在は、東北大学災害科学国際研究所長を務めている。専門は津波工学・自然災害科学で、津波被害の軽減を目指し、津波予警報システムの開発や太平洋等での防災対策等の研究を数多く実施しているほか、津波数値技術移転国際プロジェクト TIME 代表、中央防災会議専門調査会委員、東日本大震災復興構想会議検討部会、一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構代表理事等。主な受賞として 2014 年に NHK 放送文化賞、2015 年に文部科学大臣表彰(科学技術振興部門)、2016 年に防災功労者内閣総理大臣表彰などを受賞している。



高倉 浩樹 ● Hiroki Takakura

東北大学東北アジア研究センター教授。現在は、総長特別補佐(研究)および東北アジア研究センター長も務める。専門は社会人類学。2012 年に「シベリア地域研究における新局面の開拓と展開」に関する業績で大同生命地域研究奨励賞を受賞。北極圏に暮らす先住民の環境適応とその歴史についての人類学的研究で国際的に知られている。東日本大震災以降は災害復興と文化の役割の関係を調査研究しているほか、北極圏気候変動の社会影響についても業績がある。主な著作に『極北の牧畜民サハ』(昭和堂)、『極寒のシベリアを生きる』(編著、新泉社)、『震災復興の公共人類学』(共編著、東京大学出版会)等がある。